

ひたちなか市では水害から市民の生命・財産を守るため様々な治水対策を推進しています。国・県・市を問わず市内で行われている治水対策についてご紹介していきます。

発行：ひたちなか市都市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室

5月は水防月間です



気候変動による降雨量増加に伴う水害リスクが高まっています。雨が多い季節に向けて、ハザードマップを確認し避難経路の確認や備蓄品など、いざ避難する際の準備について事前に確認をお願いいたします。

避難に関するご案内

ハザードマップを公開しています



→ 洪水ハザードマップ



→ 内水ハザードマップ



↑ 各種ハザードマップをお知らせしています。QRコードをスキャンまたは「ひたちなか市ハザードマップ」で検索をお願いします。



↑ にげるんジャー
(流域治水レンジャー：茨城県)

ハザードマップでは、避難所の位置やマイ・タイムライン（避難行動の予定表）、非常持ち出し品リストなど、もしもの時に役立つ情報が掲載されています。ハザードマップは市役所・支所で配布しているほか、市ホームページでも公表していますのでご覧ください。

防災気象情報が変わります ※令和8年5月29日（予定）

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難！＞					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

気象庁が、新たな防災気象情報を発表しました。新情報では、情報名称に警戒レベルの数字をつけて発表することで、市町村等が発令する避難情報や住民がとるべき避難行動との対応が分かりやすくなります。

← 気象庁の報道発表資料より抜粋 (令和8年4月14日発表)



今後、災害時に市役所から避難に関する情報を発表するときは、この表の防災情報に基づいて情報を発信します。市民の皆様は安全に避難していただけるように、市では防災行政無線や市公式SNS（LINEなど）のほか、各種メディア・アプリ等で情報を発信します。

令和8年度 水防訓練を実施しました

本号1ページ目では、「水害からの避難」についてご紹介をいたしました。このページでは、「市民の皆様を水害から守る」ために行っている市の取り組みをご紹介します。

排水ポンプ車実施訓練

令和8年5月13日に那珂川と中丸川の合流地点にある中丸川水門において排水ポンプ車実施訓練を行いました。



↑排水ポンプ車仕様：総排水量 30立方メートル/分（ポンプ4台稼働時）
小学校の25メートルプールの水を約10分で排出することができます。

排水ポンプ車とは？



川からの洪水浸水を防ぐために水門を閉めると、今度は街側の川の水が溢れる危険が生じます。この「内水」を強制的に堤防の外へ排水するのが排水ポンプ車です。水門の機能を補完し、地域の浸水被害を最小限に抑える重要な役割を担っています。

↑まもるんジャー
(流域治水レンジャー：茨城県)



↑この訓練では、那珂川の水位が上昇したことを想定し、中丸川の水を那珂川へ強制的に排水する作業を実施しています。

↑水中ポンプを4基設置します。緊急時においても事故なく迅速に対応できるように作業手順や設置方法などを確認しました。

可搬式ポンプによる事前放流訓練

令和8年5月19日に東石川地内の「うなぎ溜」において可搬式ポンプによる事前放流訓練を行いました。堂端自治会のみなさんが訓練に参加し、可搬式ポンプの操作方法を確認しました。

うなぎ溜 堂端自治会・市河川課



事前放流とは？

マンガでわかる！！

「ため池事前放流」の仕組みと役割

1 平常時
普段は道路等からの排水などが溜まっている状態です。

2 大雨予報発表・事前放流実施
台風接近など、大雨が予想される場合、水位を下げて雨水をためる「容量」を確保します。
※ひたちなか市では事前放流に可搬式ポンプを使用します。

3 台風接近・大雨
確保した「容量」で雨水を貯留し、下流の急激な増水を緩和します！
道路冠水・家屋の浸水被害を軽減

4 放流終了・平常時へ
事前放流は地域を守る大切な取り組みです。皆様のご理解とご協力をお願いします。

台風などにより大雨が予想される時に、あらかじめため池の水を抜いておくことを事前放流といいます。

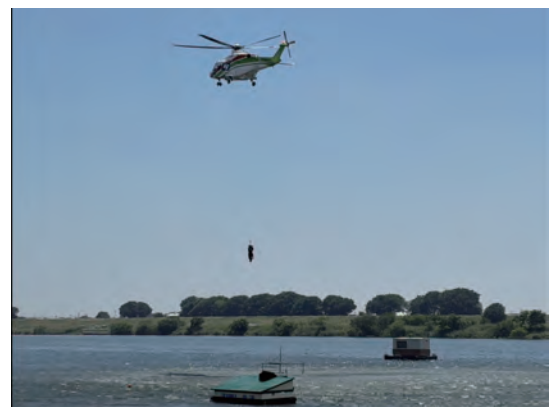
この方法により、ため池の水位を下げて雨水を蓄える容量を確保し、大雨の時に雨水を貯めることで下流の急激な増水を緩和し、市内の道路冠水や家屋の浸水被害を軽減する大切な役割を果たします。

第74回利根川水系連合・総合水防演習が群馬県邑楽郡千代田町で開催されました

この演習は、5月16日、利根川の決壊・氾濫を想定し、国土交通省や群馬県、地元水防団など約1000人が参加しました。演習の第一部では、地元水防団による堤防洗堀防止のための防水マット工などが行われ、第二部ではヘリコプターなどによる救助訓練が実施されました。



↑ 地元水防団が堤防に水防マット工を行う様子



↑ ヘリコプターによる救助演習の様子



出水期にそなえ、水門など那珂川の堤防に設置された市管理工作物の検査を実施しました。河川管理者（常陸河川国道事務所）が沿川11か所の施設を検査し、市の管理状況や施設に異常がないかなどを確認しました。



←水門動作確認のため上部に登って確認します。
(栄町水門)



←樋管を確認する常陸河川国道事務所の職員
(白色山排水樋管)

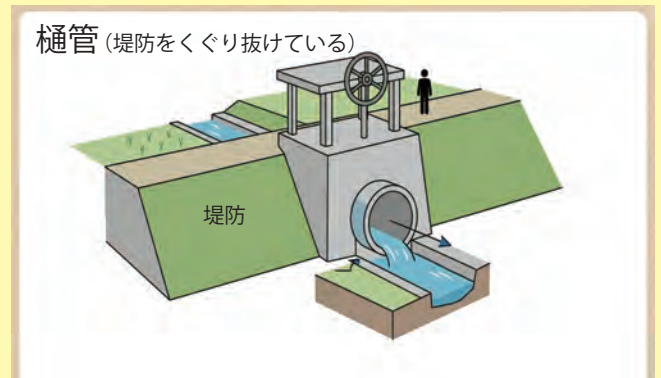
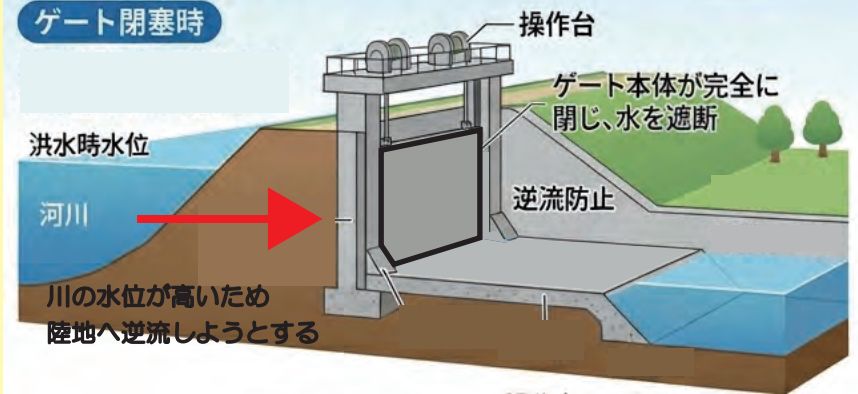
イラストでわかる！専門用語解説コーナー Vol.1

水門・樋管（ひかん）ってなに？

水門や樋管は河川からの洪水浸水を防ぎ、地域の安全を守る施設です。ゲートを閉鎖することで洪水浸水を遮断します。

水門と樋管の違いは堤防を完全に分断しているものが水門、堤防の下をトンネルのようにくぐり抜けているものが樋管となり、構造によって名称が変わります。

水門・樋管の役割



【おしらせ】令和8年度河川クリーン作戦は10月に実施します！！

河川愛護月間（7月）にあわせて実施していた河川クリーン作戦について、令和8年度は下記の日程で開催いたします。
開催日：令和8年 10月 25日（日） ※詳細は市報6月10日号でお知らせします。

ひたちなか市都市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室
〒312-8501
ひたちなか市東石川2丁目10番1号
TEL 029-273-1478（直通）

「ひたちなか治水だより」は不定期更新でひたちなか市の治水についてお知らせします。

ひたちなか市河川課のホームページでも治水に関する情報を公開しています。
アクセスはこちら→

